

創刊号

緑

の

宝

■発行 静岡県造園緑化協会

■発行日 平成4年4月25日

■印刷 黒船印刷株

このほど、皆様方の
ご熱意とご苦労に対し心
から敬意を表しますとともに、
県の環境緑化行政に対する
協力を厚くお礼申上げます。

静岡県造園緑化協会は、潤
いのある生活環境づくりに對
する県民の期待に応えて、昭
和四十年に任意団体として
出発し、昭和五十七年の社團
法人を経て、ここに満二十六
年を迎えるました。

この間、会員数も当初の八
名から現在の百三十五名と造
園関係者多数の参加を得、
事業内容を年々拡充強化され
るなど、順調な発展を遂げて
こられました。

会長挨拶



稲 勝 哲 夫

名の推移をみると、隔世の感があり、この間、各地における各種緑化事業が重要視され飛躍的に増大してきていることが伺われます。

協会の事業活動におきましても漸次積極的になり、啓蒙普及、樹木の育成調査、技術向上の講習会の開催、公共施設等に対して緑化技術と労務の提供、設計、土壤調査、移植の受託、関係団体が行う緑化関連行事への協賛参加、会員及び従業員に対する福利厚生等に、人々の生活環境の向上と造園業界の健全な発展のために協会員各位力を合わせて努力致しているところであ

ります。

東北大学の西沢学長は「化石燃料が無くなるのが早いから、酸素が不足して人類が共存できないなくなるのか、後者ではないかと考えられている」と云われております。

そういう情勢下で、私達の経営をつくり、保全していく仕事を如何に大切であり、その責任を痛感している次第であります。

一方最近の造園業界を取り巻く状況は誠に厳しいものがあります。内外の経済、社会情勢の変化の中で造園工事の多様化、高度化に対応する施

管の合理化、人材の養成、労働環境の改善など早急に取り組まねばならない大きな課題が多くあります。

これらに一生懸命に取り組み、二十世紀に向けて造園業が魅力ある職場として希望のもてる業界となるよう一層の努力をしなければならないと思います。

大きな節目の年を迎えたと思つております。

当協会の発足から現在に至る間、指導ご支援をいたいたい会員の皆様には、一層の自助努力と協会へのご協力をお願ひ致しました。

最後になりましたが、この創刊号発刊に機に引き続き発行し、明日の造園業の発展のための情報交換の場として活用されるようお願い申し上げます。

当協会が昭和四十一年に産声をあげて以来満二十六年を迎えることとなりました。

当協会は、当時わが国の急速な高度経済成長のかけ派生した都市の自然環境の保全、緑の生活環境づくりの高まりの中、公共緑化の担い手としての本県造園業の振興を目指して、毎年春に開催する例会にて発足した団体であります。

これまで、造園業が造園工事業へと進展するのに制度及び事業を重ね、昭和五十七年に至り漸く公益法人として静岡県知事の認可を得、現在に至つたのであります。

発足当時の会員八名、法人設立時九十一名、現在一三五

名の推移をみると、隔世の感があり、この間、各地における各種緑化事業が重要視され飛躍的に増大してきていることが伺われます。

協会の事業活動におきましても漸次積極的になり、啓蒙普及、樹木の育成調査、技術向上の講習会の開催、公共施設等に対して緑化技術と労務の提供、設計、土壤調査、移植の受託、関係団体が行う緑化関連行事への協賛参加、会員及び従業員に対する福利厚生等に、人々の生活環境の向上と造園業界の健全な発展のために協会員各位力を合わせて努力致しているところであ

ります。

昨年度から始まつた国の第五次都市公園整備五ヶ年計画は第四次計画に対し六〇・八

%増の五兆円で一人当たりの公園面積五・八m²から七・〇m²に増やす計画がスタートしま

した。今後着実に実施される

ことを確信しているところであります。

す。

工技術の向上、施工及び経営

緑の宝

県自然保護課の紹介

造園緑化協会と関連の深い

自然保護課は、課長、環境緑化推進室長、課長補佐と六係一スタッフ、合計二十二人で構成されています。

業務の概要と近時のトピックを紹介します。

■ 総務係

課全体の予算の執行調査や、職員の給料、旅費等に関する事務を受け持っています。

企画指導スタッフ

「静岡県緑化推進計画」や、「家一年木一花運動」の推進、環境緑化団体（クリーン

パンク、造園緑化協会、林業

会議所、環境緑化事業協同組合の指導を担当しています。

■ 施設係

県民の森や自然観察の森、保健休養林等の整備や、県民の森で自然と触れあう野鳥観察会等様々な催し物を企画実施しています。

■ 環境緑化係

造園緑化協会と関連の深いグリーンバンク環境緑化事業の技術指導や松くい虫対策、さくらの会の事務等を行っています。

■ 保護管理係

自然環境の保全に関することや自然に親しむ県民運動の推進を担当しており、現在、桶ヶ谷沼の保全対策を進めています。今年は森町で開催する巨木フォーラムを支援します。

■ 自然公園係

富士箱根伊豆及び南アルプス国立公園、県立公園等の自然公園の保護と利用の調整を図るため、公園内の建物建築制限等の許認可等を行っています。

■ 鳥獣保護係

鳥獣の保護や狩猟免許に関する事務を担当しています。また、愛鳥週間には野鳥観察会やボスター・コンクール等を行います。



造園緑地用土壤の物理化学的検査
その他農園芸関係、農産物等の検査、分析

計量証明事業所
静岡県登録第122-6号

〒424 清水市渋川100番地

EPR 株式会社 エコプロ・リサーチ

☎ 0543(48)5274
FAX 0543(47)7446



造園協の回想

相談役 江間武雄

三種の会が別途して毎年二月二十日、ここにめでたく会報の発行ができますことは誠に意義深く喜ばしいことあります。

昭和四〇年 中央段階においては全国一〇県（注：本県を含む）による日本造園緑地組合連合会（注：現（社）日本造園建築設業協会）が設立されたのを機に、本県の協会設立を図るべく、関係各位に諮り翌昭和四一年八社で発足、名称も静岡県造園業協会と決まりました。以来二〇年、私の本協会在

また、昭和四八年に造園施工能士、昭和五〇年に造園施工管理技能能士の各制度が実現し、後継者養成と技能向上に貢献できるようになったことです。

江戸武雄氏の
プロファイル

明治 42年 生まれ
住 所 浜北市新原
(委 員 歷)
昭35年 静岡県種苗委員会
40年 静岡県緑化推進協
55年 職

特に大阪万国博場での造船工事は、前述の東名山中の想い出は、高速道路工事をはじめ、筑波山園都市建設、大阪万国博、沖縄海洋博と昭和四〇年代のヒックプロジェクトに参加されたことがあります。

國工事は、昼夜を分たぬ文字通りの突貫工事は戦場そのもの

のでした。資料の調査搬入

とりわけ腐心しました。当時

の通信、運搬事情も今日と比

へようもない不便な時だけに、

無事工期内に完成したときの
喜びは格別でした。

（組織名変更あり）公長
浜北市園芸組合連合会長
静岡県環境化事業協同組合
（名称変更あり）理事長
日本造園建設業協会理事
浜北市公園緑地協会専務理事

57
市政功劳章
浜北市長
(足立誠一)
〔錦木善幸〕

造園 園芸 の省力化を支える。

修理工場完備

完璧な技術とアフターサービス

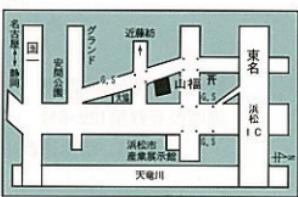
株式会社

浜松山福

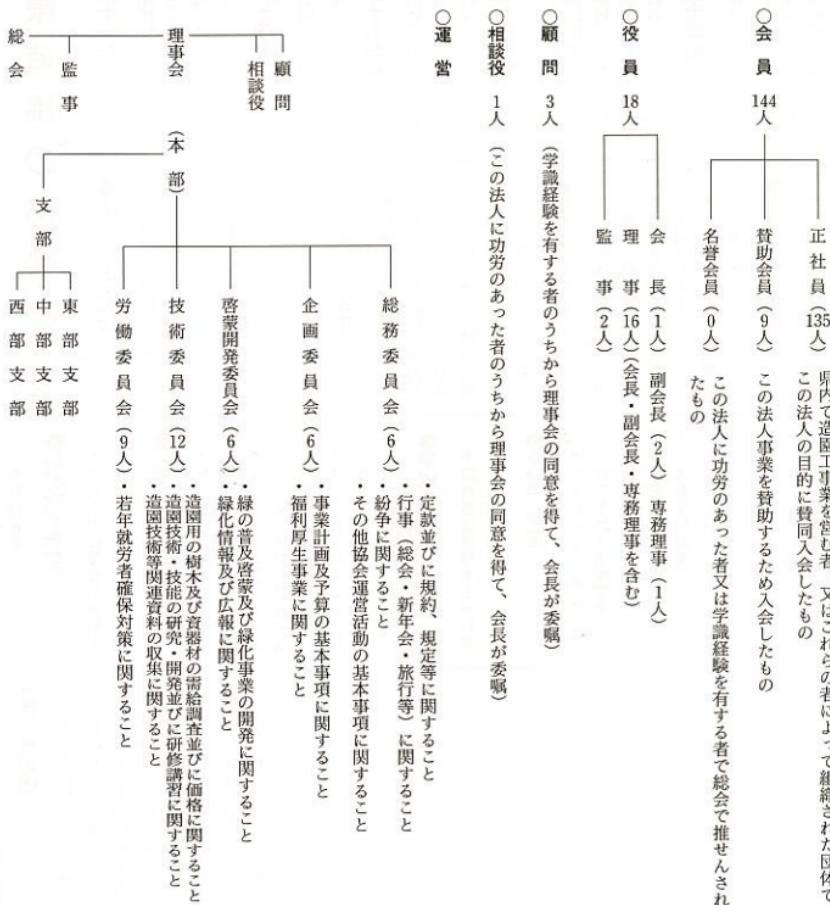
浜松市下石田町1114

TEL (053)421-7533

FAX (053)421-6715



協会の組織図



植木土専門

良質赤土（箱根産）、芝目土、テニスコート用土、グラウンド用土、サバ土

(有)鳴海建材

(焼津営) 焼津市道原1206の1

(静岡営) 静岡市流通センター隣

TEL 054-624-0657

FAX 054-623-3615

県造協のあゆみ

を作成配布。

(注)その他

- 昭和四十一年度
 - ・任意団体静岡県造園業協会設立（四十一年四月）、事務所を焼研グリーンに置く。
- 昭和四十五年度
 - ・造園用樹木の価格調査が始まる。
- 昭和四十七年度
 - ・任意団体静岡県建設業協会に名称改める。（四十七年十月）
- 昭和四十八年度
 - ・協会三支部が発足、協会に事務局を置く。
 - ・県住宅展への参画が始まっている。
 - ・開かれる。
- 昭和五十年度
 - ・樹木ガイド（街の樹200選）が発足。
 - ・協会事務所を県庁西館に移し事務局を置く。
- 昭和五十九年度
 - ・静岡県グリーンパンクが発足。
 - ・協会事務所を県庁西館に移し事務局を置く。
- 平成三年度
 - ・緑化工事予定地の土壤調査受託を始める。
 - ・樹木の管理カードの作成準備に入る。
- 平成元年度
 - ・公共施設に対する一日奉仕活動を始める。
- 平成二年度
 - ・五委員会と改める。（総務・企画・啓蒙開発・技術・労働）
 - ・本部主催のソフトボール大会を始める。
- 平成三年度
 - ・三委員会を設置。（企画総務、財務、技術）
 - ・緑化工場の育成管理状況調査が始まる。
 - ・公共施設への植樹寄贈が始まる。
- 平成五年度
 - ・社団法人静岡県造園緑化協会に改め（総会決議五十七年一月）、法人認可五十七年三月）事務所を静岡市農服町ビルに移す（五十七年二月）。
- 平成六年度
 - ・中野台住宅団地（富士川町）の庭、生垣の見本展示を始める。
- 平成七年度
 - ・中野台住宅団地（富士川町）の庭、生垣の見本展示を始める。
- 平成八年度
 - ・創立二十周年記念式典を開催。
 - ・四委員会と改める。（総務・企画・啓蒙開発・技術）
- 平成九年度
 - ・五十二年度頃より行われる。
 - ・策講習会は昭和五十年度、施工管理技術試験対策講習会は昭和五十六年
 - ・五十七年度、剪定、竹垣、街路樹、土壌、設計技術など幅広い講習会が昭和五十二年度頃より行われる。



景観サイン……

アウトドア ファニチャーを提供します。

(株)

Art-Deco

掛川市中央2丁目16の5

☎ 0537-22-0014

FAX 0537-22-5179

中部から

源平清

支部長は総会の挨拶の中で会員に対し、「この支部活動のなかで相互の親愛の情を更に深め自らのためにそれぞれの協力を」と呼びかけての出来事となりました。

四月十九日午後二時より静岡市内興業会館に於て支部総会を開催し、協会より沢野、平野新旧事務局長がご来賓として臨席され、会員三十二名が出席。平成二年度事業報告書が出席致し、平成三年度事業収支決算報告書が提出され、総会を前会一致で承認し、平成三年度事業収支計画案を原案通り引続いて承認し、親睦会に入りなごやかなうちに総会の締めを終えた。

六月十三日より三日間各委員により支部内行政期間に対する会員名簿陳情書、街の樹二〇〇選を持参し懇切な陳情を行った。静岡県静岡木本事務所を最初として二十二ヶ所の関係機関に発送をお願いし理解を得ることができた。そ

の後の各会員の工事受注に貢献することができたと思いま

七月十二日より一泊二日に

岡田自然保護課課説訪主幹静岡県造園施工管理技師会主幹静岡長のご同行を得て、途中木曾路の古い町並とその自然を訪ね、上諏訪温泉に一泊し、夜、調訪主幹より緑化行政についての講義をいただき、引続いて懇親会に移り、会員相互の信頼を深め、夜の深けるまで語り合い意義ある観察旅行となつた。

七月二十五日より「緑のクリニック事業」育成管理指導を県自然保護課、各農林事務所市町村の係官のご参加を得て、各員員施工により実施し、八月三日を最後として終了した。

八月十日の静岡市内社会福祉法人児童養護施設静岡ホームを最初として、清瀬地区社会福祉法人精神薄弱者更生施設安原荘、金谷町立五和幼稚園、萩枝市立西益津公民館、焼津駅前広場の修景をそれれ実施し、会員の一日奉仕活動を実施し、連日暑い毎日が

十日午後二時より三日間、静岡県農業試験場で開催され、約一千五百名が参加した。この会議は、主に松浦哲二様を講師として、会員四十八名が参加し、緑化工事仕様書化工事の土壤改良等について、親切にご講義を研修を終る。

十月六日午前九時三〇分より、会員相互の親睦と家族慰安の地図とバーベキュー大会を焼津市石津浜にて開催し、会員家族六十五名余が参加し、引上げられた網の中に踊るエビ、タコ、アジ等に子供達の健康的な笑顔が忘れえぬものとなりました。

十月十一日より三日間、静岡市駿府公園に於て第三十九回静岡県中央種苗展示即売会が開催され、当支部は緑の相談所の解説に会員十五名が早朝より天幕その他の設置と撤去、緑化相談に協力した。

十一月十八日の静岡市を最初として、緑の育成管理指導（第二次）とコミュニティ緑化

四九

四九



地球の環境浄化に緑を
公園緑化木、工場緑化木一式生産と卸売、和洋庭園一式卸

浜名園 村松 弘

〒434 浜北市小林551

TEL 053-586-2686 FAX 053-586-1239

縁の宝

西部から

鈴木栄治

岡県、そんな静岡県ですが、海岸線は約五〇〇キロと、東西に長く、南北の変化に富んだ地形の違いがあつて、性格も一様ではない。その中でもよく比較されます、静岡と浜松。「ヤラマイカ」の静岡には、現在三六社が加入しています。

昨年の支部の活動を振り返って見ると、田旗前支部長により引きついだ路線を継承し、毎月定例会を開催しています。定例会は、親睦会と、研修会を交互に開き、本部及び各委員会からの報告事項を支部会員にお知らせし、理解と協力をいただき、支部の融和を計っております。

毎月の例会の為、理事、支部役員の皆様には、大変な御苦労をおかけしますが、いやな顔も見せず協力していただけます。な

国のほぼ中央に位置し、温暖な気候、豊かな美しい自然、日本一の富士山がある静岡県、そんな静岡県ですが、海岸線は約五〇〇キロと、東西に長く、南北の変化に富んだ地形の違いがあつて、性格も一様ではない。その中でもよく比較されます、静岡と浜松。「ヤラマイカ」の静岡には、現在三六社が加入しています。

昨年は七月一八日に、親睦会でスタートしました。この内、恒例になりました一日奉仕活動について、今日は新居町の養護学校に致しました。それから後、七月二十日の暑い中、全会員が木鉄、刈り込み鉄、のこぎりを持参し、作業に取り掛かりました。天気が良かつた分、全員汗びっしょりで、広い敷地、沢山の樹木にもかかわらず、段取りよく大変きれいになり、学校の方からは、「なかなか外のことまで手が回らないのが実情ですが、本日はありがとうございました」と御座りました。」と言われた時は、汗だくのひたいに、心地良い風がそっとなじた用な衣服の清涼剤になりました。

この様に、支部では各市町村を順番に廻りながら、少しでも地域に貢献できればと思いつつ、頑張っています。次に視察研修会、日頃余り参加者が少ない事が残念です。ちなみに昨年の参加者は十五名でした。(内西部支部は十五名の参加です)。計画案の時には「今年は海外へ行こう」との声も大ましにありました。が、もう少し国内での実績を上げてからでも遅くはないかと思います。

又、昨年は西部で開催した事業の中に、県ソフトボール大会と、住宅展がありました。まず、ソフトボール大会ですが、天龍造園さんの口聞きで浜信の本格的なグランドをお借り出来ました。この日は素晴らしいお天気で、福井企画委員長の挨拶、森川副会長の始球式で、熱戦の火ぶたが切って落された。結果は地元の利?で優勝の美酒を味わうことが出来ました。実はこの県大会の為に、支部のソフトボール大会を計画しましたが、二度の延期で取り止めになりました。この他、四年前からボーリング大会を行つて来ました。仕事が終った七時頃から始まり、各社二名づつの代表により競い、優勝から参加賞までの多数の賞品を用意し、毎年楽しい大会が行われます。もう一つの事業は住宅展でした。



営業品目

竹類・丸太類
庭石・砂利・各種銘竹
袖垣・スダレ類

竹製品と造園資材

小針竹材店

〒410 静岡県沼津市本市道813の1

TEL (0559)62-3533

岡宮倉庫 (0559)25-2628

久しぶりの浜松で、十一月、二、三、四日の三日間アリーナで開催された。当協会も県森連他五団体と一緒にメーンである、チーマゾーンに参画した。地元の出展業者の意気込みも大変なもので、当支部もついつい氣負ってしまい、施工をお願いした赤堀産業さんには御無理を言つてしまつた。そんな事もあってか大盛況のイベントとなりました。

委員会の活動

企画委員会▼

技術委員会▼

啓蒙開発委員会▼

視

察研修は当初京都、群馬、北陸のそれぞれの名園官学の三案が俎上に上がったが結局京都の魅力に惹かれて9月26～27日知積院、雲龍院、東福寺、醍醐寺三宝院を見学し、京都の文化に接することができました。台風が接近していたので天候が心配されたが、見学を終えるまでは天気が味方してくれたのはお陰様でした。来年度は海外研修も久しくしてないのでこの辺での声も上がっているので考えていきたいと思っています。

グリーンバンクからの受託事業を委員会が受け、全員が県内21箇所を調査し回りました。暑さにも寒さにも雨にも負けず頑張りました。私達の仕事は現地での物理的な硬度や透水力などに限られます。が、見学を終えるまでは天が

本年度取り組んだものは、土壤調査であります。

本年度取り組んだものは、土壤調査であります。

本年度取り組んだものは、土壤調査であります。

本年度取り組んだものは、土壤調査であります。

シブタケ看板工芸

静岡市 田町2-79-2 TEL054 255 2285

SIGN

ソフトボール大会は、一昨年中部での各支部持ち回りでついているので東部、西部いずれかとなり、昨年は西部では10月25日、会場は浜北市内の浜松信用金庫浜北グランドと決めたところ、当日雨降りとなり順延となりガッタク、順延再度11月15日には非常に盛り上がったがそれを展開してくれました。西部チームは地元での優勝の栄冠を勝取ることができました。

本年度は、委員会が行わる、委員長、副委員長を決め、これから進め方について協議を行なわれた。先ず後継者対策については造園工の賃金水準がどの位のものか調査をするなどを主課題として、調査を統めました。

10月18日建設業会よりなる雇用問題懇談会が静岡市内で行われ、各業界の賃金レベル、時短、労働力確保の実情が報告され、席上公共事業における造園工の賃金の低さを確認、是正を要求することができた

議案であった会報の発行を目指し掲げ、2年余りの度重なる検討により、発刊に漕ぎつけました。

今後は、会員及び社会的に当協会の活動状況、技術情報、官公庁の御指導、全員相互の意見を通じて次代へ継承する会報を通じて次代へ継承する。また、本年より維持管理コンクールを実施しており、グリーンバンク事業の継続的なお手伝いが出来る事を期待しております。

来年度、県は自然復元モデル事業へのアプローチを考えておりますが、今日環境問題が叫ばれている中があり、身近なところから組むことの必要性は共鳴するところで積極的に参画・協力していくたいと思います。

来年度、県は自然復元モデル事業へのアプローチを考えておりますが、今日環境問題が叫ばれている中があり、身近なところから組むことの必要性は共鳴するところで積極的に参画・協力していくたいと思います。

来年度、県は自然復元モデル事業へのアプローチを考えておりますが、今日環境問題が叫ばれている中があり、身近なところから組むことの必要性は共鳴するところで積極的に参画・協力していくたいと思います。

社会の変化や技術の進歩に対応できる

造園教育（総合実習）の在り方

静岡県立静岡農業高等学校 前島良彰

本校は昭和41年度に造園科を設置して以来、今日まで多くの造園技術者を県内外に送り出し造園業界の要請に対応して参りました。

最近、社会の変化に伴う技術革新や先端技術の導入等、造園の各分野にも新技术が数多く導入されており、造園を学ぶ生徒にとっても、これらの中端技術や情報処理教育と専門分野の学習の関連、専門の基礎分野におけるコンピューターの活用の在り方等、これから造園技術者を養成していく上で、これらの数多くの学び得る必要がでて参りました。

また最近では、学習する生徒の多様化や目的意識の欠如が見られ、学習への意欲、また実習等への取組みが今一つ、不十分な状況になりつつあります。その為にもこれらの点を更に改善、見直し、社会の変化

や技術の進歩に対応した造園の専門教育を推進するため、教育内容を再検討し、あらゆる学習指導方法等について、総合的に問題点を探り、これから時代に合った効果的指導方法について検討し、生徒自ら積極的に造園の学習に取り組めるよう、また一人でも多くの優秀な造園技術者を造園界に送り出せるよう指導に取り組んでおります。

現在、造園科では学科の中核科目である造園計画・造園材料、（造園緑化材料）、造園施工、管理を中心に学習しておりますが、最近ではコンピューター関係、環境問題等の実習等への対応が課題とされおり、先端技術と造園学習の関わりについて基礎学習を推進しておりますが、この応用的活用が不十分であることがよく指摘されておりま

す。
そこで新しい専門技術の指導方法の開発が課題とされています。

総合実習の 教育内容と展開方法

本校では造園教育のねらいを造園技術者の養成においてきましたが、最近では産業社会の技術革新に伴い、造園業界においても情報機器を採用

した新しい技術体系の導入が進んでいます。

また、豊かな生活環境の想像への社会的要請が高まり、公共緑化事業を中心とする都市計画における造園関連の技術傾向があることへの対応が課題とされています。

従来、造園に関する「総合実習」は造園の専門技術に関するそれぞれの分野の総合技術の習得という視点から展開されてきました。

新しい「総合実習」の展開においては、造園業界で役立つ技術者に求められる総合化された専門知識、技術を習得させる学習方法が学習の一形態として考えられます。

これらの社会的養成に応える造園技術者を育てる学習当つては、次の根拠に立つた技術者の養成が求められる

と考えています。

新しい総合学習の 展開上の留意点

① 総合実習の学習における情

報技術の活用

② 総合実習と学科の基礎科目との相互関連の強化

③ 公共緑化事業及び環境緑化の視点の重視

④ 産業界で役立つ応用性、転位性のある技術者の養成

⑤ 計画・施工・管理まで一貫した総合技術学習

以上の5項目を踏まえ新しい「総合実集」の学習方法を検討していく必要があると思われます。

従来、造園に関する「総合

実習」は造園の専門技術に関するそれぞれの分野の総合技術の習得という視点から展開されてきました。

新しい「総合実習」の展開においては、造園業界で役立つ技術者に求められる総合化された専門知識、技術を習得させる学習方法が学習の一形態として考えられます。

エンプレムと呼んでほしい。

実力を秘めたさりげなく、しかも、装うもの的存在感を確実に伝える…。

インブルのテーマは樹木のエンブレム。

自然という名の

偉大なアーチストのプレステージには、

エンブレムこそふさわしい。

「自然」に最も近い営業
株式会社 インブル

本社 平塚市 沢松町401-1 ブルスター8F サンポート内
静岡営業所 平塚市 静岡駅構内ビル2F TWIN CORE 6F
TEL 054(272)6375 FAX 054(272)0750



- ① 新しい「総合学習」の
- 学習方法

- ① ねらい＝総合化された造

園技術の習得(例として)

一つの庭造りを計画から施工、管理まで一貫して

学習させ、その各過程に

おいて発展的学習として、

先端技術の学習を随所に

導入していく。

施工の依頼→現地測量→

庭園設計→見積もり→施

工・管理

い樹木の取扱い、植栽方

法を映像機器により習熟

させる。また施工に関する工事仕様書、工程表等

の施工計画の作成能力を

身につけさせる。

このように造園教育の中に

も数多くの先端技術を導入す

ることが可能であり、学習効

果が随所に良い点として出て

くると予想される。

イ。新しい「総合実習」の

指導の留意点

①マスターープランの作成に

おける樹木の選定に当た

つては、コンピューター

による樹木の検索技術を

習得させる。

②現場測量に当たっては、

レベル、平板を活用した

応用測量技術の習熟と総

合化を図る。

③設計図面の作成では、平

面図、断面図、透視図と

CADを作った自動製図

(二点透視回込) の習熟を

図る。

④見積書の作成は、積算方

法ブックによるコンビ

ューターを使つた積算技

術を習熟させる。

⑤施工に当たつては、正し

一日も早くマスターし、造園

の技術に自信をもち、一人で

多く、造園技術者として胸

を張つて業界へと育つていつ

て欲しいと思います。

しかし、これらを円滑に推

進させていくためには、今後

多くの問題点も山積みしてお

ります。

第一点に教師側の指導力の開

発が急務であり、上記のよう

な総合実習を展開するに當た

つては、教師側の指導(技術

新しく「総合実習」を実施す

ることにより、従来の部分的

総合技術中心の実習と比較し

て次のような点が評価される

①Plan-Do-See の総合実

習により総合的知識、技

術が習得できる。

②総合化された技術習得が

でき、社会に役立つ技術

者が養成できる。

え、社会の変化や技術の進歩

に対応できる造園教育の在り

方にについて検討を重ねて参り

ました。そして、業界の要請

に少しでもお役に立てるよう

努力をして参りたいと思いま

す。業界諸先輩方のご指導ご

鞭撻、またご協力をお願ひ致

します。

工。実施上の課題

第一点に教師側の指導力の開

発が急務であり、上記のよう

な総合実習を展開するに當た

つては、教師側の指導(技術

力) が大きく問われることに

なり、総合化した知識、技術

の習得のための研修が今後の

課題とされます。

第二点に各教材等にかかる

材料費の確保など、実習展開

第三点に地域における造園

関連業界との連携が効果的学

習を推進していくためにも必

要不可欠であると思われます。

その他、今後に大きな問題と

なる造園と環境問題との関わ

り、人間性と心豊かな生活環

境への創造等、造園の果す役

割も今後学習の中へと随所に

取入れていく必要があります。



**情報を
より確かなものにするための
文字を私たち
大切にしています。**

2-4-25 Toro
Shizuoka, Japan

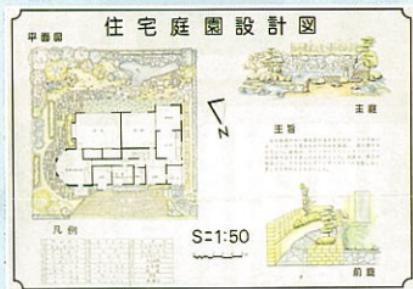
黒船印刷株式会社

Tel 054-286-0236
Fax 054-281-3881

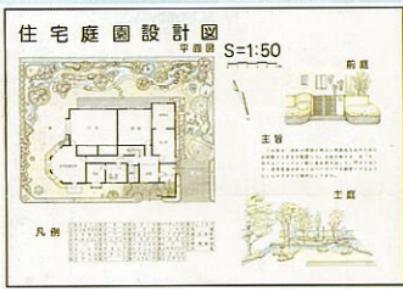
静農の表彰写真

平成3年度第18回全国造園コンクールが行なわれ静岡農高が最も多くの入選者を出し文部大臣賞の栄誉に輝きました。

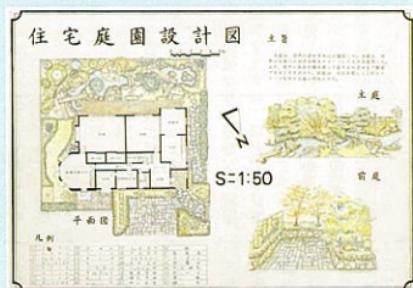
その作品をここに紹介させていただきます。



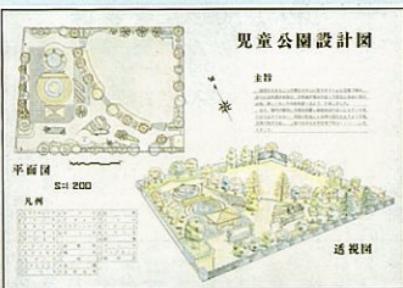
高校の部 住宅庭園入選 静岡県立静岡農業高
荻野 真史



高校の部 住宅庭園入選 静岡県立静岡農業高
朝比奈秀樹



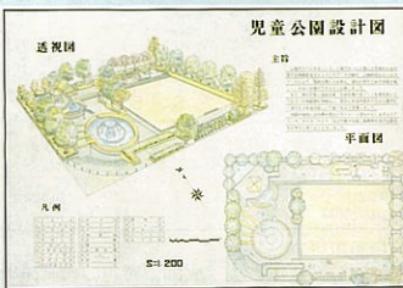
高校の部 住宅庭園入選 静岡県立静岡農業高
成瀬 勝也



高校の部 児童公園入選 静岡県立静岡農業高
吉本 卓司



高校の部 児童公園入選 静岡県立静岡農業高
片井 重男



高校の部 児童公園入選 静岡県立静岡農業高
志村 直樹

